

中間期(平成27年9月期)決算概要について

平成27年11月25日
株式会社国際協力銀行

中間期(平成27年9月期)決算概要

1. 中間期(平成27年9月期)業績サマリー
2. 中間損益計算書:前年同期との比較
3. 中間貸借対照表:前年度末との比較
(参考)外貨貸出の状況推移
4. リスク管理債権等の状況

1. 中間期(平成27年9月期)業績サマリー

(単位:億円)

	H27.9(A)	H26.9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	596	487	109
業務純益	515	406	108
経常利益	601	475	125
中間純利益	601	475	126

(単位:億円)

	H27.9末(A)	H27.3末(B)	(A)-(B)
貸出金残高	144,596	144,329	267
うち外貨貸出金	128,346	126,195	2,151
外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,069	1,050	19
保証残高	25,878	25,723	155
総資産	185,920	184,638	1,282

- ・業務純益は、業務粗利益の増加によりH26/9比108億円増加。
- ・経常利益は、貸倒引当金繰入額の減少等により、H26/9比125億円増加。
- ・中間純利益は、H26/9比126億円増加。
- ・貸出金残高は、円貨貸出金の減少を上回る外貨貸出金の増加により、267億円増加。

2. 中間損益計算書：前年同期との比較

(単位：億円)

	H27.9(A)	H26.9(B)	(A)-(B)
業務粗利益	596	487	109
資金運用利益	488	339	149
役務取引等利益	102	132	△30
その他の業務利益	5	15	△10
営業経費(△)	△81	△80	△0
業務純益	515	406	108
貸倒引当金戻入額(△繰入額)	△9	△35	25
その他損益	95	104	△8
償却債権取立益	0	1	△1
株式等売却損益	△1	-	△1
組合出資に係る持分損益	96	102	△6
その他の損益	0	0	0
経常利益	601	475	125
特別損益	0	△0	0
中間純利益	601	475	126

中間純利益は601億円となり、前年同期比126億円の増加。主な増減は以下のとおり。(以下、増減は前年同期比)

- ・資金運用利益は、主に外貨貸出金を中心とした貸出金残高の増加及び利鞘の改善等により、149億円の増加。
- ・役務取引等利益は、承諾案件に係る手数料収入につき、前年同期の反動減により30億円の減少。
- ・貸倒引当金は、個別貸倒引当金の減少を一般貸倒引当金の増加が上回り、9億円の繰入。
- ・その他損益は、組合出資に係る持分損益等により、95億円を計上。

3. 中間貸借対照表(資産):前年度末との比較

(単位:億円)

	H27.9末(A)	H27.3末(B)	(A)-(B)
資産の部合計	185,920	184,638	1,282
現金預け金	9,285	8,504	780
買現先勘定	-	-	-
有価証券	3,027	2,617	409
貸出金	144,596	144,329	267
うち外貨貸出金米ドル換算額(億ドル)	1,069	1,050	19
その他資産等	4,297	4,617	△320
支払承諾見返	25,878	25,723	155
貸倒引当金	△1,164	△1,154	△9

資産の部合計は18兆5,920億円となり、主な増減は以下のとおり。(以下、増減は前年度末比)

- ・有価証券は、新規出資案件等及び既往案件への追加払込等により、409億円増加。
- ・貸出金残高は、円貨貸出金の減少を上回る外貨貸出金の増加により、267億円増加。
- ・支払承諾見返は、新規保証が保証解除を上回ったこと等により、155億円増加。

3. 中間貸借対照表(負債・純資産): 前年度末との比較

(単位: 億円)

	H27.9末(A)	H27.3末(B)	(A)-(B)
負債の部合計	161,265	160,032	1,232
借用金	96,346	94,253	2,093
社債	30,631	30,494	136
その他負債等	8,346	9,497	△1,150
退職給付引当金	61	63	△2
支払承諾	25,878	25,723	155
純資産の部合計	24,654	24,605	49
株主資本	23,805	23,840	△35
繰延ヘッジ損益	732	636	95
その他有価証券評価差額金	116	127	△10

負債の部合計は16兆1,265億円、純資産の部合計は2兆4,654億円となり、主な増減は以下のとおり。

(以下、増減は前年度末比)

- ・借用金は、外国為替資金特別会計からの借入金増加等により、2,093億円増加。
- ・社債は、発行額が償還額を上回ったこと等により、136億円増加。
- ・株主資本は、前年度利益処分に係る国庫納付(△636億円)があった一方、中間純利益601億円を計上。

(参考)外貨貸出の状況推移

	H25.9	H26.3	H26.9	H27.3	H27.9	増減率 (H27.3から H27.9)
貸出金(億円)	118,396	126,554	135,783	144,329	144,596	0.2%
うち外貨	97,909	106,916	116,875	126,195	128,346	1.7%
外貨割合	82.7%	84.5%	86.1%	87.4%	88.8%	-
外貨USD換算額(億ドル)	1,001	1,038	1,067	1,050	1,069	1.8%
ドル-円 為替レート	97.75円	102.92円	109.45円	120.17円	119.96円	-

- ・H27/9末の貸出金残高は、約14兆円。
- ・貸出金総額に占める外貨貸出金の割合は増加傾向。
- ・外貨貸出金は、外貨ベース(ドル換算ベース)でH27/3末比1.8%増加。
- ・外貨貸出金残高のうち、ドル建のものはH27/9末時点で12兆1,936億円(1,016億ドル)であり、残高の95%を占める。

4. リスク管理債権等の状況

(1) 銀行法施行規則基準

(単位: 億円)

	H27.9末(A)	H27.3末(B)	(A)-(B)
破綻先債権	-	-	-
延滞債権	1,003	1,204	△201
3ヵ月以上延滞債権	346	359	△13
貸出条件緩和債権	720	737	△17
リスク管理債権合計①	2,070	2,301	△231
貸出金残高合計②	144,596	144,329	267
リスク管理債権比率(①/②)	1.43%	1.59%	△0.16%

(2) 金融再生法基準

(単位: 億円)

	H27.9末(A)	H27.3末(B)	(A)-(B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	-	-	-
危険債権	1,003	1,204	△201
要管理債権	1,067	1,097	△30
開示債権合計①	2,070	2,301	△231
正常債権	168,864	168,195	669
合計②	170,935	170,497	438
開示債権比率(①/②)	1.21%	1.35%	△0.14%

・リスク管理債権残高(銀行法ベース)及び開示債権残高(金融再生法ベース)は、対象債権残高の減少に伴い、前年度末と比較してそれぞれ231億円減少。

・リスク管理債権比率は1.43%(前年度末比0.16%減)、開示債権比率は1.21%(同比0.14%減)

※JBICの中間財務諸表等は平成27年12月末日までに「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム」(EDINET)にて開示予定です。